

## ◆漁業士活用育成事業

# 平成25年度九州ブロック漁業士研修会

水産海洋技術センター本部駐在 吉田聡

### 1. 目的

九州ブロックの漁業士が漁村地域の活性化や漁業振興等の問題について、相互研鑽するとともに、各地の漁業士との連携を深め、漁業士活動の活性化及び資質の向上を図る。

### 2. 参集範囲

水産庁、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県、沖縄県、宮崎県（8県）の漁業士・漁業協同組合連合会職員・信用漁業協同組合連合会職員・県職員

### 3. 日時及び場所

#### 【1日目】

平成25年8月22日（木）13:00～17:00

宮崎県庁本館2階講堂

#### 【2日目】

平成25年8月23日（金）8:00～12:30

宮崎県立高等水産研修所（宮崎県日南市）

### 4. 参加者

金武漁業協同組合 屋比久健青年漁業士

### 5. 引率者

沖縄県水産海洋技術センター本部駐在

水産業改良普及指導員 吉田聡

### 6. 内容

#### <研修会>

宮崎県漁業士会会長 高橋氏、宮崎県農政水産部の那須次長より挨拶があったのち同水産部漁村振興課の中西氏から「宮崎県における浮魚礁利用について」、水産庁上田情

報技術企画官より「次世代に残る漁師について考える」と題して講演が行われた。

また、休憩を挟み引き続き水産庁上田情報技術企画官より「沿岸漁業リーダー・女性育成支援事業」についての情報提供が行われた後、各県から漁業士の活動事例報告が行われた。当方から本県の漁業士活動状況報告を、漁業士活動の特徴的な取組みについて金武漁協の屋比久青年漁業士が報告した。

他府県も本県同様に漁業士の活動に個人差があるようで、活動のマンネリ化、新規認定者の減少、高齢化による漁業士数の減少などが問題となっているようである。

#### <視察>

研修2日目に宮崎県立高等水産研修所の視察を行った。施設の概要について同研修所の大木氏より説明を伺った。

同施設は漁業後継者の養成機関で正職員5名、非常勤職員6名、生活指導（寮）2名の職員で運営されており、同施設で1年間の研修を終了した研修生は宮崎県内のカツオ一本釣、マグロ延縄漁にほぼ100%就業しているとのことであった。また、研修の他に一般向けの無線、海技試験の資格取得講習も行っているとのことであった。

<研修会>



研修会の様子（宮崎県庁講堂）



水産庁上田情報技術企画官による講演



宮崎県漁業士会会長 高橋氏



宮崎県中西氏による講演

<視 察 : 研修所内>



宮崎県高等水産研修所



操船シュミレーター  
(現在は実物により対応)



施設概要説明の様子



航海に必要な各種機器



研修所大木氏、渡邊氏

<視 察 : 実習場、倉庫>



エンジン

